

## 松戸里やま応援団 小浜の森の会5月の活動記録(3) 通算NO. 365

活動日時	2024年5月11日(土) 9:00~15:00	天候:晴 25°C 45%(12時)
参加者	訪問者:大人26、子共10 計36名 晴耕雨読の撮影 大10、子3 計13名 スタッフ:石本・徳地・牧野・松田・山野辺・横山 計6名	記録:横山
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンモック・グリーンアドベンチャーパネルの設置、訪問者を森へご案内</li> <li>晴耕雨読撮影に立会い</li> </ul>	



森へようこそ



晴耕雨読の撮影風景



ハンモックで遊ぶ親子



花ミョウガの花

## 松戸里やま応援団 小浜の森の会5月の活動記録(4) 通算NO. 366

活動日時	2024年5月12日(土) 9:30~15:00	天候:曇 23°C 58%(12時)
参加者	訪問者:大人28、子共13 計41名 スタッフ:大江・児山・鈴木・萩原・原・松田・横山 計7名	記録:横山
自然観察の記録	花の見られたもの:ガマズミ、エゴノキ、ハナミョウガ、マユミ、スイカズラ、ウコギ、ニガキ 蕾が見られたもの:アオテンマ(オニノヤガラ)	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問者を森へご案内</li> <li>サツマイモの植付け</li> </ul>	



来訪者に森の説明



ハンモックで遊ぶ親子



ハンモックで遊ぶ親子



竹を欲しがる親子



ちょっと一休み



来訪者との歓談



サツマイモの植付け



マユミの花

★この森の保全活動は「一財法/千葉県環境財団県民の環境活動支援事業」より助成を受けています★



# ～ 子どもも大人も 森へ行こう! 森で遊ぼう ～

## 2024・第12回 オープンフォレストin松戸



紙敷三森(石みや・みなみ・野うさぎ)一般公開日：2024年5月11日(土)12日(日)

Open Forest 2024 in Matsudo 市内に点在する民有地の森を市民の皆さんに公開する第12回オープンフォレストin松戸が開催された。都市部に残された貴重な樹林地を未来の子ども達に引き継ぐため、例年風薫る5月に松戸市と松戸里やま応援団により開催される。現在市内には市民ボランティアによる民有樹林地が15ヵ所、公有の根木内歴史公園と21世紀の森と広場(縄文の森)で保全活動を展開している。生活の近くにある小さな自然の中で「森の風・森の光・森の香り」を感じながら散策・自然観察・ハンモック・クラフトづくりなどを体験して頂いた。「ホッとしますね」ご近所にお住いの御婦人の一言、喜々として飛び回る子どもたち、森の大切さをあらためて思い知らされる。公開日のハイライトは会員のお仲間によるギターとオカリナ演奏、万緑の梢に軽快な調べが響きわたり、自然と音楽が調和「健康と癒しの森」に相応しい公開日となった。

11日(土) 天候：快晴 気温：23.5℃ 湿度：57% 来森者：大人48名 子ども14名

スタッフ：alldy 池村・櫛原・寺久保・藤田・山下 am 上澤・大川・荻野 8名

12日(日) 天候：曇り 気温：23℃ 湿度：67% 来森者：大人71名 子ども29名

スタッフ：alldy 池村・小倉・櫛原・高間・藤原・山下 am 上澤・李 pm 太田・荻野・任 11名

二日間計 来てくれた人 大人 119名 子ども 43名 スタッフ 19名 合計 181名



いよいよ公開日！横断幕・幟を取り付け、ハンモック設営、散策路除草、クラフト・絵本準備を行う



初日の森入口風景



おとうさんと一緒に



囲いやまの森 野口さん



ご近所のマンション自治会の皆さん



押し花やどんぐり駒づくりを楽しむ



お母さんと一緒に (画像処理)



梢を見上げて夢ごち



兄弟揃って！上手く回るかな？



意外と難しい？輪投げ



お父さん頑張る！



ご両親に支えられて竹馬に挑戦



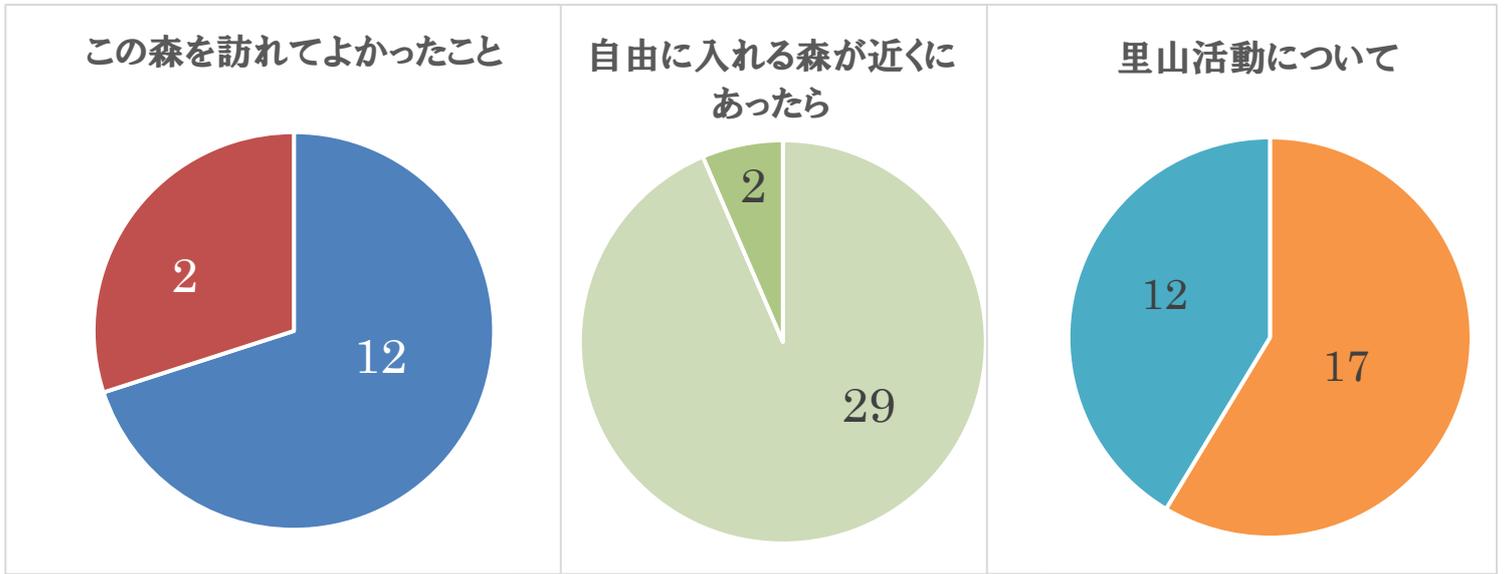
～イヌシデの梢に明るい日が注ぐ～



荻野会員のお仲間 ♪スマSH//の皆さんによるギター演奏音楽会

今年のオープンフォレストには多くの方が訪れてくれた。中でも応援団を指導頂いている千葉大柳井先生、千葉大園芸学部生、応援団前代表野口さん、市川わんぱくの森大峡さんとお仲間、会員が住むマンションの役員の方々、会員の知り合いなど…。里やま保全にはこうした多くの皆さんとの共感と繋がりが大切と思いを新たにしました。～温故知新～

# 2024 オープンフォレスト in 松戸 紙敷石みやの森 参加者アンケート結果



- ① 心が癒されリフレッシュできた 12      ① 自然観察・散歩に利用したい 29      ① 参加してみたい 17  
 ② 子供の自然環境教育や遊び体験  
に役立った 2      ② 利用しない 2      ② 参加はできないが支援したい 12

## 感想・意見

★とてもたのしかったです ★しぜんがいっぱいべん強になりました。またあそびに行きたいです★  
 ばかばか(竹ぼっくり?)がたのしかったです★リフレッシュできました。寄付させていただきます。★市内に  
 大きな森があるのは知っていました。今回参加してボランティアの活動により守られていることを学び  
 ました。子どもはゲームばかりしていますが、今日ここに来て自然の中で楽しんでいる様子を見てもっ  
 と森に遊びに来たいなあーと思いました。私は森林浴が大好きです。もっと散歩したいです。活動の応  
 援をしています。ありがとうございました。★活動日以外入れないのは不自由。

## 森を大切にしよう ♪

この海の 水の青さは  
あの森の 木々たちが  
枝や葉を 豊かに伸ばすから  
森のいのちは 私たちのいのち  
森が生きていることは

私たちが生きていること  
大切にしよう 森の木々たち  
大切にしよう 森の木々たち

森に生かされている

私たちなら なおさらに

この森の 深い響きは  
あの山の 木々たちが  
たくましく 緑を育むから

山のいのちは 私たちのいのち

山が繁ることは

私たちが栄えること  
大切にしよう 山の木々たち  
大切にしよう 山の木々たち

山に育てられている  
私たちなら なおさらに

作詞 赤根益男  
作曲 曾根紀子

■次回活動日 5月18日(土) 10時~12時 集合場所 石みやの森農園 (ジャガイモ追肥土寄せ等)

倒れ木は朽つるままなり 万緑裡 山本歩禪 いつの日か倒された材が五月の緑の中に朽ちている風景も絵に  
なる季節。地震、風水害、森林火災など自然は時に厳しい試練を与えるが、紅紫のえも言われぬ夕焼けなどハ  
ッとするような天然の動画を無償で見せてくれる。人間は太古の昔からこうした自然が織りなす風景の中で生  
きて来た。桜の季節が終わり街路はむせかえる様なみどりのスクリーンが目優しい。一昨年 NHK 朝のドラ  
マで話題となった植物学者牧野富太郎は晩年練馬区に居住し、今は「牧野記念庭園」として残る。博士はこの  
のほかサクラが好きで 10 種類ほどが植樹され没後 70 年の今も、代替わりしたサクラが花を咲かせている。  
「濃艶で桜色で雲のごとき花を開く」ソメイヨシノが都会に相応しいとする一方、森の中で見かけるヤマザク  
ラは、白く小さな花が赤みを帯びた葉によって引き立っていると解説している。「花は葉に」遠に終わったサク  
ラだが、木全体に葉を茂らせて美しい葉桜となり、初夏の明るさと爽快さが感じられる季節となった。(烈)

# イ千ニイ通信 樹人の会 (jyuni no kai) NO. 329

“日本は輝く命にあふれている”

■実施日時・活動場所: 2024年5月11日(土)9:15 ~ 15:10 《野うさぎの森》

■参加会員: 吉原さん、山崎さん、浪花さん、小輪瀬さん、安西さん、森山さん、  
榎原さん、Mrs.浦野、藤田さん、小林(政)、小林(雅)、市川さん、  
櫻井さん、日吉さん、笹嶋さん

■会員以外の参加者: 来森していただいた方(大人91人、子ども47人)

(合計153名)

■活動概要: 気温 21.9℃、湿度 49%(午前9時10分)

オープンフォレストの初日、天気は申し分なしだ。今年のオープンフォレストは、伐倒した木や竹で作成した輪投げ、玉をどんぐりにしたパチンコ(ゴム銃)、薪割り、ウグイス笛などを新たな遊びに加え、森のプログラムや遊びのマップを作成し分かりやすくして来森者が楽しめるようにと準備は万端。



本日の集合写真



受付風景

森に来たメンバーは、それぞれが準備作業に着手する。

整ったところで集合写真撮影、そして、ミーティングでは本日の役割分担と注意事項の確認を。10時前には最初の来森者が。その後は次から次へと人の列で受付は大忙しに。

森は子どもたちの声で大賑わい。松戸市の「晴耕雨読」の撮影クルーも来森し、ベストショットを狙う。



竹ポックリ



ハイジのブランコ



バランスよく丸太渡り



カブトムシの幼虫だ〜

榎原さんの住むマンションの自治会の役員10名と子どもさんが視察参加し、子どもを含めたイベントを企画した



本日の必見柳井先生

いとの声も。千葉大の柳井ゼミの学生は興味津々。午前中の来森者数は何と100人越えに。ウグイス笛は品切れに。

近くに住んでいる方からはオープンフォレストのことは知らなかったが、素晴らしい活動をしているとの声に感激!

午後の来森者は落ち着きゆったりとした時間も。2時過ぎには柳井先生も来森し野うさぎの森を満喫? パチンコを体験する先生の顔は必見。

午後3時には笛の合図で名残惜しくも1日目は終了。充実した1日でした。

静かになった森で、明日のため、破損した輪投げの輪(孟宗竹)を追加作成し、森を後に。

■次回活動日: 5月12日(日)9:15 ~ 15:00 オープンフォレスト2日目

文責: 笹嶋/写真: 藤田、笹嶋

※本活動は、ちば環境再生基金助成事業での県民環境活動支援を得て行っています。

# イチニイ通信 樹人の会 (jyuni no kai) NO. 330

“日本は輝く命にあふれている”

■実施日時・活動場所: 2024年5月12日(日)9:15 ~ 15:40 《野うさぎの森》

■参加会員: 吉原さん、山崎さん、浪花さん、小輪瀬さん、安西さん、森山さん、櫛原さん、中村さん、Mrs.浦野、藤田さん、小林(政)、小林(雅)、笹嶋さん

■会員以外の参加者: 来森していただいた方(大人69人、子ども36人)

(合計118名)

## ■活動概要:

オープンフォレストの2日目、天気予報によると雨の心配はないが、少し風も。来森した者から、遊具、工作や写真等のセットに取り掛かる。不足した竹切り用の真竹の切り出しも。



OF2日目のメンバー

ミーティングでは、昨日のことを踏まえた修正について話し合い、輪投げ場所の移動やスムーズな運営に心がけることに。

開始の10時には早速の来森者が訪れ、今日も大忙しの予感が。昨日は来場者が多く竹工作の材料が不足したため、山崎さんが夜なべして材料を準備していたことに感謝。竹工作の傍らでウグイス笛のパーツ組み立てに瞬間接着剤でてんやわんや。薪割り場では、ホルツハウゼン(薪のスイス積み)が部分崩壊のアクシデントも。

今日も来森者が絶えることなく終了の午後3時まで続いた。

終了のホイッスルの合図に、今年のオープンフォレストは終了となったが、名残惜しく森を後にする方々に来年の来場を期待する。

寂しくなった森

で撤去作業を粛々と進めるが、子どもたちの歓声の余韻が何処かに。

撤収作業後にオープンフォレストの反省会を行い、本日参加者は105

名、2日間で243名、森のビンゴで良

かったことの集計では①ハンモック、②ブランコ、③竹切りの報告が。

来森した皆さんの歓声や笑顔により、短期間であったが、みんなで苦心して企画したことが報われ、来年への励みに静かになった森を後にする。



お父さんに抱かれても楽しそう



ハンモック



野うさぎの森の歌



竹切り



輪投げを真剣に



ブランコで笑顔

■次回活動日: 5月15日(水)10:00~

文責: 笹嶋 / 写真: 藤田、小林(政)、笹嶋

※本活動は、ちば環境再生基金助成事業での県民環境活動支援を得て行っています。